

# 議会だより はこね

- 主な内容
- 9月定例会 ..... P 2～3
  - 決算特別委員会 ..... P 4～5
  - 一般質問 ..... P 6～9
  - 委員会報告 ..... P 10
  - 広報研修会、南足柄市議会との交流会 ..... P 11
  - 健民祭特集 ..... P 12～13
  - 議会活動報告 ..... P 14～15
  - 畑宿一里塚 ..... P 16



南足柄市議会との交流会

# 9 月 定 例 会（8月27日～10月1日）

## 議 決 件 数（21件）

### 条例改正（1件） 可 決

#### ○箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

被保険者証の廃止に伴い、保険料を滞納している世帯主で、被保険者証の返還に応じない者に対する10万円以下の過料に係る規定を削除したもの。

### 補正予算（4件） 可 決

#### 1. 令和6年度箱根町一般会計補正予算 補正額 3億6,357万2,000円

##### 主な内容

|                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ○一般職給与費追加                | 248万円          |
| ○神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金追加 | 221万4,000円     |
| ○財政調整基金積立金追加             | 3億2,092万5,000円 |
| ○戸籍住民基本台帳改修更新委託料         | 99万8,000円      |
| ○児童手当追加                  | 1,272万円        |
| ○オーバーツーリズム未然防止・抑制支援事業補助金 | 1,598万円        |
| ○道路浚渫等手数料追加              | 500万円          |
| ○河川浚渫等手数料追加              | 300万円          |
| ○公共下水道事業会計補助金            | 25万5,000円      |

#### 2. 令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算 補正額 1,386万9,000円

##### 主な内容

|                   |              |
|-------------------|--------------|
| ○後期高齢者医療広域連合納付金追加 | 1,386万9,000円 |
|-------------------|--------------|

#### 3. 令和6年度箱根町介護保険特別会計補正予算 補正額 287万5,000円

##### 主な内容

|                  |            |
|------------------|------------|
| ○第1号被保険者保険料還付金追加 | 287万5,000円 |
|------------------|------------|

#### 4. 令和6年度箱根町公共下水道事業会計補正予算 補正額 25万5,000円

##### 主な内容

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| ○児童手当拡充分追加に伴う補助金の追加 | 25万5,000円 |
|---------------------|-----------|

### 工事請負契約の締結（2件） 可 決

#### ○庁舎施設等整備事業 旧観光物産館・旧消防湯本分署解体工事

落札業者：株式会社 勝俣組

契約金額：1億1,077万円

#### ○宮ノ下駐車場整備事業 宮ノ下駐車場長寿命化改良工事

落札業者：株式会社 勝俣組

契約金額：1億8,370万円

決算認定（付託案件）

P 4 ～ 5 に決算審査関連記事を掲載

○令和5年度 箱根町一般会計及び9 特別会計歳入歳出決算並びに水道事業会計・公共下水道会計の剰余金処分及び決算の認定について決算特別委員会に付託されていたもので、委員長報告のとおり認定された。

人事案件（2件）

- 教育委員会委員の任命について  
勝俣 正志さん（仙石原在住）再任
- 人権擁護委員候補者の推薦について  
橘川 小夜子さん（元箱根在住）再任

報 告（1件）

- 財政の健全化判断比率等について  
関係職員からの説明を求めた結果、審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものである。

議会議事案件

- 請願第1号 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める請願書
- ※本請願は、総務企画観光常任委員会に付託されたもので、審査にあたっては、紹介議員及び請願者の出席を求め、慎重に審査を行った。同委員会では早期批准を求める意見書の提出は時期尚早であるとの意見もあり、採決の結果、賛成多数により不採択すべきものと決定された。本会議においては賛成討論・反対討論を行い、採決の結果、賛成少数のため不採択となった。（P10に関連記事）

議員別議案賛否一覧

| 議案番号 | 議 案 名                            | 議決結果 | 山田和江 | 鈴木美貴 | 勝俣陽二 | 佐藤章子 | 川口延明 | 勝俣剛一 | 村野由紀子 | 勝俣泰彦 | 稲葉親太郎 | 遠藤秀則 | 折橋尚道 | 沖津弘幸 | 山田成宣 |
|------|----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|
| 52   | 箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について     | 可決   | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | －    |
| 53   | 令和6年度箱根町一般会計補正予算（第3号）            | 可決   | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | －    |
| 54   | 令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）     | 可決   | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | 欠    | ○    | ○    | －    |
| 57   | 令和5年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について        | 可決   | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | －    |
| 59   | 令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | 可決   | ×    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | －    |

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 －：議長は採決に参加しません。

# 特別委員会

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります

## 委員長報告

本特別委員会は、4日間にわたり会議を開き、各項目を慎重に審査しました。一般会計と特別会計の歳入総額は、159億3,997万2,765円。歳出総額は、153億3,080万1,637円で6億917万1,128円の黒字となりました。

ふるさと納税や固定資産税の超過課税等によって、いずれも実質収支は黒字決算を保っておりますが、経常収支比率は99.7%となり財政の硬直化は極めて深刻であることに変わりありません。

各議案採決の結果ですが、一般会計と後期高齢者医療特別会計は賛成多数。国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、育英奨学金特別会計等、全員賛成によって認定されました。

民間と行政が一層協働したまちづくりを推進しながら、さまざまな施策の展開を期待します。町税収入は、前年度からの増収となっていますが、中長期的には、財源不足が見込まれることから、今後の取り組みとして、物価高騰の影響等により期待した効果が得られにくい取り組みもあることから経済動向に注視し、効果に見合った取り組み内容を検討していただきたい。

決算特別委員会委員長 村野由紀子

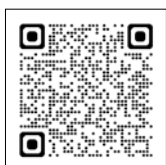


決算特別委員会の様子

## 審査のチェックポイント

### 歳入編

- ◇町税等の収入の状況確認
- ◇補助金の確保の動向
- ◇町債等の動向
- ◇その他の収入動向



令和5年度予算は  
こちら

### 歳出編

- ◇支出の適法適正の動向
- ◇不要額の妥当性
- ◇予算流用の適正状況
- ◇予備費の充当の適正度
- ◇補助金の効果
- ◇その他留意事項について
- ◇主な施策の成果の活用
- ◇財産に関する調書明細書の活用
- ◇基金の運用状況の審査
- ◇財産運用の適否の判断
- ◇仕事の出来高と出来具合の審査

## 決算認定までの流れ

決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

令和6年3月31日  
会計年度終了



令和6年5月31日  
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
- ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出

※監査は秋山代表監査委員と、勝俣剛一議員が厳正に行いました。



令和6年  
9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程



決算特別委員会での審査  
(質疑)

開催日 9月13、17、20日

審議時間 午前10時～午後5時



定例会で討論を行い  
各会計ごとに採決



全員賛成または  
賛成多数で認定

※賛否が分かれた議案は、P3の議員別議案賛否をご覧ください。



決算特別委員会の様子

# 令和5年度 決算を審査 決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

## ここに注目!! 具体的な審査内容

### 歳入編

- 固定資産税の決算状況・不能欠損・収入未済額について
- 町営住宅使用料滞納繰越分について
- 戸籍住民基本台帳手数料・徴収手数料について
- 衛生手数料について
- ふるさと納税寄付金について
- 町民税 個人全般について
- 入湯税決算内容・徴収状況等について
- 沿道建築物耐震化支援事業県補助金について

### 歳出編

- 子育てシェアタウン推進事業について
- 公衆トイレ整備事業について
- 箱根湿生花園整備・特別展等事業について
- ごみ外部処理委託料及び清掃第1プラント施設維持管理事業について
- 箱根教育推進事業について
- 地震等災害対応資機材整備事業について
- 生きた英語事業について
- 国民健康保険特別会計保険料等について

決算の概要は、広報はこね11月号（P8～9）に掲載しています。



## 討 論

## 決算認定に対しての、賛成・反対討論

### 賛 成 至 誠 会

令和5年度の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類となって以降、国内における個人消費の回復やインバウンド需要の増加の影響により、社会経済活動は緩やかな回復の動きが見られたが、エネルギー・食料品等の物価高騰は収まらず、経済に与える影響が懸念された1年であった。一般会計は、歳入が126億円、歳出121億円で予算執行率は、85.3%であり、4億2,092万円の黒字を保つことが出来たが、依存財源である町債は、6億7,970万円となった。経常収支比率は99.7%であり、未だ厳しい財政の膠着状態が続いている。

### 賛 成 緑風クラブ

一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額が4億6,294万3,902円の黒字となったことは、的確な運営がされている結果である。

また、財政調整基金の積み立てが、8億7,342万7,000円となり財政調整基金の残高が20億円を超え、ふるさと納税の増大などにより、着実に積み立てられている状況は大変喜ばしいことである。

今後は、公共施設のあり方を見直し、将来世代に過度な負担を残さないための行財政運営が必要の中、全職員が一丸となって、次年度以降の予算編成に取り組んでいただくことを切に願う。

### 反 対 日本共産党

本決算で危険木伐採等補助制度、18歳までの医療費助成制度などの住民要望が実施されたことは評価できる。しかし、固定資産税における超過課税は見直しの時期であったが続行され、国際観光ホテル整備法も温存されている。さらに、2025年10月からのごみ処理広域化計画のもと耐用年数15年の焼却炉を2倍の30年に引き延ばして使用し、ダイオキシン類の検出で補修工事や焼却炉の運転停止に伴うごみ外部処理委託で5億7千万円もの補正が組まれた。ごみ処理広域化に固執してきた代償としてあまりにも大きく認められない。

| 質問者   | 質問内容                                                    | ページ |
|-------|---------------------------------------------------------|-----|
| 佐藤 章子 | ・企業誘致について<br>・ライドシェア導入について                              | 6   |
| 勝俣 陽二 | ・出生数の減少に伴う人口減少による箱根町の将来像について                            | 7   |
| 折橋 尚道 | ・高齢化社会の地域見守りの充実<br>・健康生活上ののためのIoT・デジタル活用                | 7   |
| 村野由紀子 | ・防災・減災対策について                                            | 8   |
| 稲葉親太郎 | ・町民の暮らし第一のまちづくりについて<br>・防災対策について                        | 8   |
| 鈴木 美貴 | ・高齢者福祉の充実について<br>・学校教育について<br>・防災対策について                 | 9   |
| 山田 和江 | ・大規模森林伐採について<br>・高齢者の孤独死対策について<br>・町立観光施設の町民無料制度の復活について | 9   |

町の考え方を問う！

一般質問

9月定例会では、町政全般へ7人の議員が、14項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

**問** 観光業が主な箱根町は、今後再びパンデミック発生や止められない地球温暖化等を考える時、観光業以外の一般の企業誘致が必要と思われる。

**答** 企業誘致が成功すれば経済的な効果だけでなく、若者や新しい文化の定着にもつながる希望があると思うが。

**町長** コロナ禍を機に企業のリモートワークが定着したこと、都市部からの移転も増えている昨今であるから、町も滞在型サテライトオフィス体験事業等を開始しており、実際に社員の方に一定期間箱根で仕事をしていただき、その後にサテライトオフィスの誘致、社員の定住を促すという取り組みをしている。結果、総合商社やIT関連企業の他、実際に他の地方でサテライトオフィスを設置している企業など様々な業種の企業に参加していただいている。

町 充分な調査・検討を行い、町に合った方法を研究していく。

観光業以外の一般企業誘致と、ライドシェア導入の考えは？

佐藤 章子 議員

今後も取り組み内容のブラッシュアップをしていきたいと考えている。

**問** 町民の足代わりになるライドシェア制度の導入は。

**町長** 本町の住民の交通実態や国の制度・規制などとの整合を踏まえ、様々な可能性を探りつつ今後も町民の利便性共に研究していきたい。

## 出生数の危機的な状況に どのように対応するのか



勝俣 陽二 議員



町

これまで実施している施策を、若者に伝わるように積極的にPRしていく

問

町民の方々から、箱根町の将来を担う子どもたちの数が、少なくなっているとの声を聞く。令和に入ってから直近3年間に於ける、箱根町の出生数については、令和3年が25人、令和4年が23人、令和5年が36人という状況となっている。

今後このような出生数の減少に歯止めがかからなければ、幼児学園、保育園、幼稚園の運営及び小・中学校における再度の統廃合の問題、将来的には、町自体の存続も危ぶまれる。

この出生数の危機的な状況に対して、町長としてどう思われているのか、また、今後この問題に対してどのように対応するのか、町長の見解を伺う。

答

町長

町としては、これまで力を入れてきた子育て支援施策だけでなく、未婚の方々が、町内で生活することに加えて、地域や団体などで活動することへの楽しみを感じ



てもらい、様々な方との交流を通じて、町への愛着を形成していただくことが肝要と考えている。そうすることで、本町で長く住み続けたいという思いの醸成、ひいては、本町での結婚・出産・育児につながるものであると思っている。いずれにしても、この問題に対しては、これまで以上に力を傾け、しっかりと取り組んでいきたい。

## 高齢者の地域見守りとプールでの ウェアラブルデバイスの利用



折橋 尚道 議員



町

高齢者見守りとデバイス持ち込みは前向きに検討

問

マックスバリュ移動スーパーによるあらたなコミュニティができつつある。この機会を利用して、高齢者等地域見守りネットワークを実践してみてもどうか。

答

福祉課長

移動スーパーにより毎週人が集まれば、多くの情報も集まってくると思う。気になる情報があれば、福祉課や地域包括支援センターに伝えていただくよう周知を図っていきたい。また、販売員にも協力いただいて、連絡体制を整備し気になる情報があれば、地域全体で高齢者の見守りができるように図っていきたい。

問

スマートウォッチなどの「ウェアラブルデバイス」を健康管理に役立てている人は多い。さくら館プールには、リハビリや健康維持のために利用する方も多い。現状はスマートウォッチのようなデバイスの

持ち込みは禁止されているが、安全確保できるなら、利用許可をすべきではないか。

答

保険健康課長

保護力バーの着用やプール内での操作制限などのルールに関する先進事例を参考に運用方法についてプールの運営を委託業者と協議しながら、スマートウォッチの持ち込み許可について慎重に検討してまいりたいと考えております。

問

町長

検討に要する時間はどのくらい必要なのか

答

町長

早急に結論を出します。



移動スーパーの様子

## 防災・減災対策を！

村野 由紀子 議員



町

防災意識・地域防災力の向上を図る！

問

箱根町で想定している巨大地震（南海トラフ地震や神奈川県西部地震等）が起きた時の被害想定は？

答

町長 神奈川県が平成27年3月に発表した「神奈川県地震被害想定調査報告書」に基づき算出している被害想定について、震度6強の神奈川県西部地震では、建物被害は、全壊棟数270件、半壊棟数1070件、避難者数400名、帰宅困難者2660名、死者数・重傷者、数名等となっている。

問

大規模災害により町職員等を派遣できない場合の避難所の運営は？

答

町長 避難所開設の知識や経験がなくても、自治会や避難してきた町民が開設ができるように、手順書綴りと最低限必要な資料を入れた「ファーストミッションボックス」を避難所に整備する。

問

さらに防災意識を高めてもらうため、今一度、各地域で防災出前講座等を行う考えはあるか。

答

総務防災課長 出前講座の講話対象者や講話内容等、見直しを行い、更に町民の防災意識及び地域防災力の向上が図れるよう検討する。



ファーストミッションボックス

町

住民との話し合いを重ね、具体的な取り組みを行う

問

後期基本計画施策「協働のまちづくりの推進」において地域コミュニティ活動支援には、「自治会や各種団体等の地域に根付いた活動を支援します」とあるが女性会や青年団体の現状把握や問題点抽出等について伺う。

答

町長 全国的に人口減少が進み、少子高齢化が進んでいる中、本町においても各種団体等の役員のなり手不足により、地域コミュニティの維持が難しくなっており、解散する団体があると承知している。このような地域のコミュニティ力の減衰は地域はもとより、ひいては町全体の活力の低下につながる。

持続可能で住みよい町づくりを目指していくためにはコミュニティの再構築や活性化は必要不可欠であると考えている。そこで、令和5年度に地域コミュニティの活性化に向けたヒントとす

## コミュニティ活動の支援は？

稲葉 親太郎 議員



るべく、全国の市町村で実施されている先進事例を紹介し、また町民と行政が協働して新しいコミュニティづくりを推進していくための足がかりとするため、町内5地域でワークショップを開催した。令和6年度には、収集した課題や解決に向けたアイデアを踏まえながら、行政と住民との話し合いを重ね、具体的な取り組みを行っていく。



## 高齢者バス回数券を金券にする 考えは？



鈴木 美貴 議員



町 高齢者やバス運転手の負担増を考慮し、金券は考えていない

**問** 高齢者バス回数券購入助成は、補助率を35%に引き上げたことで購入冊数が増えている。より使いやすい制度にするために、小田原市が実証実験で行っている「おだチケ」のような金券にする考えは。

**答** **福祉課長** 「おだチケ」は日中に路線バスの運行がない地域や駅やバス停から離れている地域に住んでいる70歳以上で運転免許を持っていない方を対象に行われている実証実験で一人に付き100円券を168枚配布している。

回数券では途中下車ができないが金券では途中下車ができる一方、1回に複数枚使用し、差額を現金や電子マネー等で支払わなければならない、町内の運賃や現在のバスの混雑状況等を考えると、支払いに時間がかかり、高齢者にとってもバス運転手にとっても負担が増えると考えられ、金券での助成

は今のところ考えていない。

**問** 移動スーパが台風や悪天候によって販売が中止の場合、周知する方法は？

**答** **福祉課長** 台風や雪など、車両が運行できない場合、高齢者等避難指示が出るような状況の際は運行を中止することとしており、基本的には出発店舗に問い合わせをしていただく。今のところこの方法だけでなく、周知方法については、検討する必要があると考えている。



## 大規模伐採、 町はどう考えているのか



山田 和江 議員



町 引き続き事業者に適正な指導を行って参りたい

**問** ほぼ全域が自然公園法の適用を受ける国立公園である当町で、現在、強羅地区や仙石原地区では、大規模な森林伐採が行われている。「普通地区」であっても大規模な森林伐採は、景観や水資源保全、生物多様性、災害誘発などに大きな影響を与えると危惧され、何よりも今日の地球的課題である温暖化対策に逆行するものではないだろうか。住民からも「これはもう国立公園ではない」との声も上がっていることから、町長の見解を伺う。

**答** **町長** 箱根町開発指導要綱に基づいて、自然環境及び生活環境の保全、形成を基本とした様々な手続きを行っており、事業者もこれを真摯に受け止める事業が行われている。引き続き環境省、神奈川県等と緊密に連携し、事業者に対し、適正な指導を行って参りたい。

**問** この森林伐採の3か所は何れも「大型宿泊施設」となっている。住民からは大型の宿泊施設は、もう箱根には要らないとの声も出ている。

**答** **企画観光部長** 新たな宿泊施設等の開発が進んでおり、それに伴い箱根の経済活動も活発になり、町民の生活も比例して活発になるということも考えられるので、一概に全てがいけないというようには考えていない。



仙石原の伐採現場

## 委員会活動報告

### 請願第1号の審査

総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣 泰彦

6月議会で上程議題となりました請願第1号「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める請願」については、定例会におきまして、総務企画観光常任委員会に付託され、去る6月13日、7月11日、8月20日に委員会を開催し審査を行いました。

審査にあたっては、紹介議員及び請願者の出席を求め、趣旨説明等をいただくなど、慎重に審査を行いました。

ジェンダー平等の実現は、取組んで行くべき重要な課題ですが、本請願にある女性差別撤廃条約選択議定書の批准にあたっては、国内の法律や制度について、政府において検討すべき課題があるとの見解も示されているところであります。批准については慎重に審議していくべき案件であると考えられ、早期批准を求める意見書の提出は時期尚早であるとの意見もあり、採決の結果、賛成多数により不採択すべきものと決定いたしました。



### 箱根DMOの観光施策

当委員会は、去る7月25日に町企画観光部及び箱根DMO専務理事を招聘し、今後の観光施策等について報告を受けました。

観光行政におけるインバウンドの現状と課題、観光DXの推進や、今後の対応についての説明を受け、意見交換等も行われました。

コロナ禍の沈静化後は、観光需要が回復基調であります。他方では、将来的に競合観光地に押されることに危機感を感じており、また、災害リスク管理・人手不足やオーバーツーリズムへ等の対策も重要であるとの説明もありました。

今後も観光動向に注視しながら引き続き調査研究を行い、箱根DMOが推進する観光地経営を後押しし、地域の活性化と観光振興の発展に貢献してまいります。



### 移動スーパーは上々の滑り出し

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口 延明

教育福祉環境常任委員会では去る7月25日に委員会を開催し「移動スーパーや、仙石原で運行されている、『にこにこ号』の状況、その他高齢者に対する事業」について所管課との会議を行い、7月17日から注目されながら始まったマックスバリュの移動スーパーについて、開始後一週間ではあったが、現場の意見や課題を収集のうえ説明を受けました。

この移動スーパーは町民も大変期待をしていたことであると共に我々も早々に現場を訪れた結果、多少の課題もあるが大変満足できる上々の滑り出しではないかとみております。人気があり過ぎて到着予定時間に遅れてしまうハプニングもありますが、今後に向けて修正していければと思います。

にこにこ号については現在仙石原だけの運行になっていますが、各地域でも採用できるか、検討を進めます。

高齢者に対する事業で配食サービスの状況や、はり、きゅう、マッサージサービスの利用状況の質問もした中で今年度はマッサージが4月から6月で120名を超える利用者があったことから利用年齢拡大ができないか？などの意見等も出ました。認知症関連事業の見守り対応や認知症サポーター養成講座の質問の中では、特に養成講座について、昨年度で185名受講されたとのこともあり、認知症に対する関心の深さを感じております。

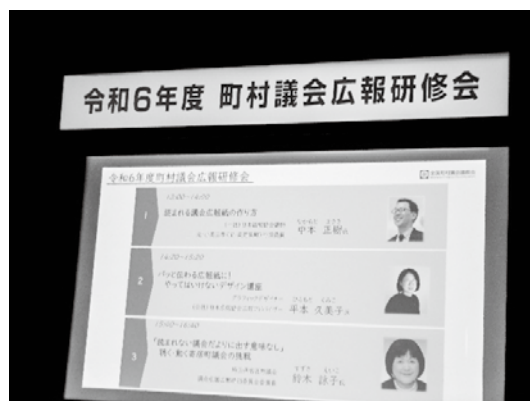
今後も必要に応じて委員会活動で対応していきます。



## 広報研修会に参加しました

9月25日、令和6年度 町村議会広報研修会に参加し、「読まれる議会広報紙の作り方」「パッと伝わる広報紙に！ やってはいけないデザイン講座」を受講し、読む人側の視点で、住民に分かりやすく作る事を意識し、試行錯誤を積み重ね、多くの住民の方に議会だよりを読んでもいただけるよう委員一同、研鑽を重ねたいと思います。

(鈴木美貴)



## 南足柄市議会との交流会

交流会発足のきっかけは、平成20年に仙石原から南足柄市への新規道路開通を目指した「南箱道路建設推進議員連盟」から始まります。箱根と南足柄は山を越えれば隣の街で、金太郎のご縁もあることから、道路だけではなく、もっと深い付き合いをしていくことを議会から推進しようと組織されました。

今回は、南足柄市の開催で、道の駅「足柄・金太郎のふるさと」を視察、市役所に戻って、令和2年オープンからの経過を伺うとともに、市の農業振興に多大な影響をもたらしたこと、商品開発や積極的な発信によって、オープン当初から延べ280万人の集客があり、経営的にも順調であるなどの話を伺いました。

(折橋尚道)



# 箱根各地域体育会 秋の運動会 特集

9月7日 箱根地域健民祭

9月29日 湯本町民運動会

宮城野地域健民大会

10月6日 温泉地区健民祭

仙石原地域健民運動会



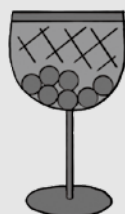
## 箱根地域健民祭

箱根では、いち早く開催される健民祭。午前中はグランドゴルフ、午後には健民祭競技が開催されました。天候にも恵まれたので、競技に参加した人は、結構汗をかいて、運動不足解消となりました。



## 宮城野地域健民大会

時々日差しがあり、スポーツにはまずまずの気候です。各競技とも白熱した試合展開。日頃の運動の成果が発揮され、応援にも熱が入ります。皆さん翌日の筋肉痛はほぼ間違いなさそうですね。



2

4

6



### 温泉地区健民祭

雨天で、グラウンド状態が悪く体育館で開催。恒例の競技参加者に渡される賞品は、生鮮野菜が中心。カレーをイメージしての野菜のチョイス。お肉についてはご自分で購入とのことでした。



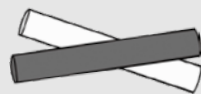
### 湯本町民運動会

体育館での開催でしたが、日頃の運動不足の解消になったことと思います。一番盛り上がったのは最後の抽選会。コメ不足もあって景品のお米には、皆さん目の色が変わりました。



### 仙石原地域健民運動会

当初は小雨でしたが、人工芝のグラウンドと星槎学園の協力により、支障なくすべての競技が消化できました。競技種目によっては、事前練習している自治体もあるので、選手の真剣勝負が展開されます。



議

員

活

動

報

告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報ください



8/18

### 大文字焼

8月16日が台風接近の為18日に延期。当日は点火する人材の不足が懸念されましたが、ボランティア、旅館・ホテルの従業員などの方々が参加してくれて、綺麗な大文字焼となりました。(折橋 尚道)



8/2

### 湯河原やっさ祭り

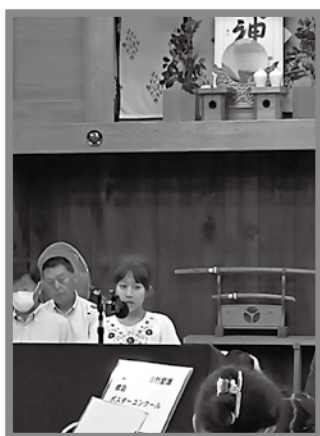
広域で行政施策を研究することから「熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会」を組織して13年目、交流の一環として定例会を実施するとともに、1市2町実施する観光キャンペーンの参加や各市町の観光イベントに訪問して相互の理解を深めています。

今回は湯河原町の夏のイベント「やっさ祭りに」招待されました。町全体のお祭り、子供から大人・地域企業など多くの参加者があり、にぎやかなお祭りです。(折橋尚道)

8/23

### 美化大会

第61回美化大会が8月23日箱根神社武道場他で開催。観光美化・自然愛護作文、ポスターコンクール入賞者の表彰に続き、標語・作文入賞作品の朗読が行われ、児童・生徒から箱根の自然を大切にしたいという思いが伝わってきました。(鈴木 美貴)



8/5

### 観光関連団体 船上親善交流会

8月5日、町主催の「観光関連団体船上親善交流会」が開催されました。

船内での各参加者との交流会後の花火が湖上に上がったころは、霧も晴れ、美しく華やかな夜空と静かな湖面の対比が素晴らしかったです。(佐藤 章子)

9/8

### はこね学生音楽祭

はこね学生音楽祭2024が、9月8日仙石原文化センターで開催。今年は6つの学生団体が個別演奏の課題曲「箱根八里」をアレンジ演奏した後、自由演奏二曲が演奏され、金賞・銀賞・銅賞・奨励賞が選ばれた。表彰式後、全員で、恒例の「箱根八里」を大合唱し閉会となりました。(鈴木 美貴)





9/12

## 敬老会

湯本富士屋ホテルでの敬老会。多くの方々によって、盛会裏に開催できました。式典で表彰された皆様おめでとうございます。これからも箱根町の為に力をお貸しください。よろしくお願いいたします。(折橋 尚道)



10/4

## 観光まちづくり検討会

10月4日、令和6年度第2回箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議を傍聴しました。

この会議は町が観光地として発展・成長するために、「観光」と「暮らし」が相互に好影響をもたらす観光まちづくりに係る施策を推進するにあたり、その財源のあり方について調査審議されるもの。観光関係者、町民代表者、学識経験者と町職員が参加し年4回開催される。

今回は令和6年度当初予算で主に観光振興等に関する歳出と町民対象の歳出、他の自治体の観光財源\*を調査した結果等を基に、観光関係者、町民代表者、学識経験者から意見が出され、令和8年度の報告書や提言などのとりまとめにむけて、活発に討議が行われました。

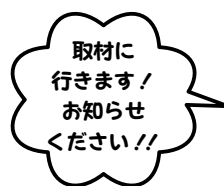
\*入湯税・宿泊税・その他、観光振興を目的とし地域の事情に即し導入されている地方税・受益者分担金・負担金・協力金・寄附金（ふるさと納税）  
(鈴木美貴)



9/26

## 健康福祉フェスティバル

9月26日さくら館で ～みんなで楽しく健康づくり～ 2024 健康・福祉フェスティバルが開催。「体験・測定コーナー」の後、午後から行われた、「社会福祉功労者顕彰式典」では、対象者13名のうち6名が出席し表彰されました。その後「くすりの上手な飲み方講座」を聞き、箱根元気会と受講者で、「いきいきHAKONE体操」で体を動かしました。  
(鈴木 美貴)



## 議員と語り合いませんか!??

## 「議会との意見交換会」開催希望について

少人数のグループでもかまいません。  
ご希望の方は、ご連絡ください。

議会事務局  
☎85-9570



## 12月定例会の日程（予定）

## 本会議

11月28日、12月13日、17日

※11月21日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更になる場合があります。

詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

一里塚とは江戸時代の慶長9年(1604)江戸日本橋を起点として、東海道を旅人の目印として、街道両側に1里(約4km)ごとに設けられた塚のことであり、街道を利用する旅人の道中の目印として整備されたものです。

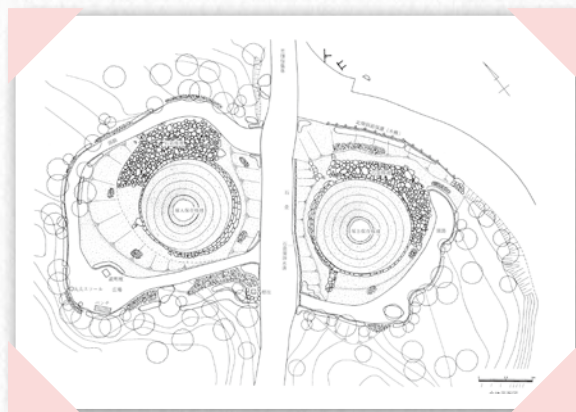
明治時代以降に交通機関の発達や道路の拡幅等により、各地の一里塚は取り除かれてしまいました。箱根においては、湯本茶屋、畑宿、葎原久保(箱根)の3箇所に一里塚があったことが確認されていました。この内の畑宿の一里塚だけが現存しており、他の2カ所はその場所に石碑が建立されて一里塚の痕跡をとどめています。

畑宿一里塚は、畑宿バス停より石畳街道を箱根方面に向かい2分程度歩いたところにあります。箱根町は、平成9年から畑宿一里塚の発掘調査を行い、平成10年11月30日に保存整備工事を完了させ、当時の旅人の面影を感じることができるようになっています。

# 箱根町百景めぐり



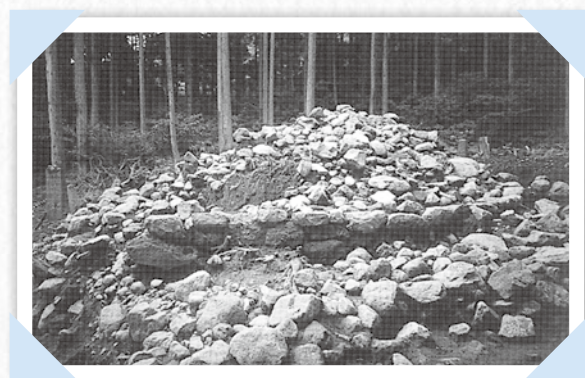
## 箱根旧街道 畑宿一里塚



塚修理計画全体平面図？



現在の一里塚



発掘された一里塚



整備中の一里塚の様子

投稿者・折橋尚道

資料提供・箱根町教育委員会

広報広聴委員会

委員長 村野 由紀子

副委員長 折橋 尚道

委員 鈴木 美貴・勝俣 陽二

佐藤 章子・勝俣 泰彦

### 編集後記

「長く酷暑の夏がようやく収まり、ススキが美しく晩秋に向かっていきます。各地での運動会には参加されましたか？この後は、大名行列、秋の町民展、音楽祭も開催の時を待っています。箱根の秋を満喫してください。(佐藤章子)

